

# 学力向上フロンティアスクール中学校報告書

都道府県

秋 田 県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	琴 丘 町 立 琴 丘 中 学 校					教員数
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	
学級数	2	2	2	1	7	
生徒数	62	58	57	3	180	15

研究の概要

## 1 研究主題

生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導  
～「確かな学力」の向上のための実践研究～

## 2 研究内容と方法

### (1)実施学年・教科

本校では、確かな学力の向上を目指し、生徒の実態に応じたきめ細かな指導の充実を図る視点から、次の4点に重点的に取り組み実践研究を進めてきた。

- 指導方法や指導体制の工夫改善
- 少人数学習のための教材開発と活用の工夫
- 生徒の自己評価活動の工夫
- 生徒の主体性を引き出す学習環境の充実

次の学年・教科で、2～3名の教員で少人数指導を実施している。

- 1年生 数学，英語
- 2年生 数学，英語
- 3年生 国語，数学，社会，理科  
英語

数学や英語は、学年が進むにつれて個人差が大きくなる。学習状況調査では、特に数学の関数で理解度が低いことが明らかになった。そのため、生徒の理解の状況に応じて、習熟度別のコースを設定したり、TT指導で個別学習の充実を図ったりしてきた。また、意欲的に学習に取り組めるように、解決方法を生徒に選択させ学習を進めてきた。

### (2)年次ごとの計画

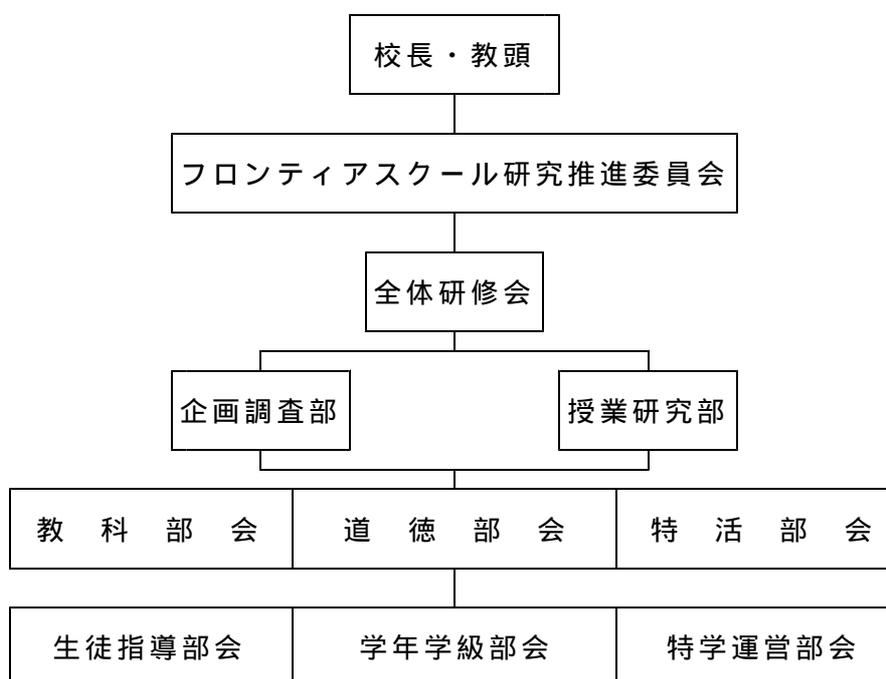
平成 14 年 度	テーマ
	互いを認め合い主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～個が生きる学習過程の工夫～
	仮説
	(1) 少人数学習において個に応じた学習を展開することによって、意欲的に課題解決に取り組むようになるのではないか。
	(2) 日常の学習活動を積極的に支援することによって、学習習慣の定着を図ることができるのではないか。
	(3) 評価活動を工夫することによって、自己の課題を的確に把握し、その克服に積極的に取り組むようになるのではないか。
	研究の内容
	(1) 少人数学習の実施（数学において 1・2年生1C2T 3年生1C3T）
	(2) 学習相談タイムの実施，家庭学習の奨励
	(3) 自己評価の実施

平成 15 年度	<p>テーマ 生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導 ～「確かな学力」の向上のための実践研究～</p> <p>仮説 (1) 少人数学習において個に応じた学習を展開することによって、意欲的に課題解決に取り組むようになるのではないかと。 (2) 日常の学習活動を積極的に支援することによって、学習習慣の定着を図ることができるのではないかと。 (3) 評価活動を工夫することによって、自己の課題を的確に把握し、その克服に積極的に取り組むようになるのではないかと。</p> <p>研究の内容 (1) - 少人数学習の実施 きめ細かな指導の充実を図るため、全学年の数学と英語において少人数学習を実施する。1, 2年生は1C2TによるTT指導を基本とし、単元後半にコース別学習を、また、3年生は、1C3Tによるコース別学習（習熟度別）を行う。 5分間小テスト 学習内容の確実な定着を図るために、授業の始めに5分間小テストを行う。結果について、指導が必要な場合は個別に指導する。 学習課題の提示の工夫 学習課題の提示を工夫することにより、生徒一人一人が明確な目的意識をもって学習に向かうことができるようにする。また自己評価で自分の学習状況を把握できるように、表現や提示の方法を工夫する。 (2) - 家庭学習の奨励 教科担任が、提出された家庭学習ノートに励ましのコメントを記入するとともに、基本的な内容の確実な定着に努める。 学習相談の実施 定期テスト前に2週間、放課後に30分程度相談タイムを設定する。各教科担任が各教室に待機し、生徒の質問等に応答する。 (3) 自己評価の実施 生徒自身が、自分の学習の仕方を振り返ったり、理解の状況を確認したりするために、カードを活用した自己評価活動を継続する。カードには自由欄を設け、授業での感想や疑問点を記入させるようにしている。教科担任はそれにコメントを添えたり、必要に応じて個別指導をしたりする。</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導 ～「確かな学力」の向上のための実践研究～</p> <p>仮説 (1) 少人数学習において個に応じた学習を展開することによって、意欲的に課題解決に取り組むようになるのではないかと。 (2) 学び合いの場面を意図的に設定することによって、自分の考えや思いを表現するようになるのではないかと。 (3) 評価活動を工夫することによって、自己の課題を的確に把握し、その課題の追究に向けて積極的に取り組むようになるのではないかと。 (4) 学習相談タイム、シートを活用した家庭学習など日常の学習活動を支援することによって、学習習慣の定着を図ることができるのではないかと。</p>
----------------	---

平成16年度	研究の内容
	(1) 少人数学習の実施 きめ細かな指導の充実を図るため、全学年の数学と英語において少人数学習を実施する。3年生では、国語，社会，理科でTT指導を行う。
	(2) 学び合いの場の設定 知識・理解，思考力及び表現力を育成するために，学習過程に学び合いの場を設定し，話し合いによって個々の学習を充実させる。
	(3) 自己評価の実施 カードに学習のねらいを明記することや自由欄のコメントを工夫することによって，より正確に学習状況を把握し，個々の支援の充実を図る。
	(4) 学習相談タイムの実施と家庭学習の奨励 ねらいを明記したシートを活用して，家庭学習を行う。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1 研究の成果

現3年生NRT学力検査の結果

	国 語					社 会					数 学					理 科					英 語				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
H13	3	13	33	42	8	0	20	42	32	7	2	13	33	32	20	2	13	30	50	5					
H14	3	17	34	38	7	2	16	48	31	3	7	9	47	36	2	2	15	43	36	3	0	11	27	51	9
H15	0	21	50	26	3	3	17	38	33	9	2	12	47	28	12	2	12	40	34	12	3	19	34	33	10

上の数字は，5段階%を示している。

現2年生の学習状況調査（秋田県実施）の結果

	国 語		社 会		数 学		理 科		英 語	
	本 校	全 県	本 校	全 県	本 校	全 県	本 校	全 県	本 校	全 県
H14	77.4	73.0	58.1	55.7	68.8	66.5	74.7	75.6		
H15	70.3	69.4	54.9	51.0	52.0	51.0	63.0	57.5	62.6	62.4

上の数字は，平均通過率を示している。

今年度の学習状況調査の結果では、1年生の1教科を除いて全学年全教科とも全県平均通過率を上回っている。しかし、その差はわずかであり、学年が進むにつれて通過率は下がる傾向がある。また、NRT学力検査においても、その傾向が見られる。

また、意識調査の2年生における「勉強は大切だ」と「学校の勉強がよく分かる」を「強くそう思う」について比較すると、次のような結果であった。

「勉強は大切だ」	全県	27.1%
	本校	39.7%
「学校の勉強がよく分かる」	全県	5.7%
	本校	5.2%

上記の結果や、授業時及び放課後の「学習相談タイム」の生徒の状況から、生徒の学習に対する意識は以前より高まってきていると考える。しかし、「勉強がよく分かる」と答えた生徒は5.2%と、決して高くはなかった。したがって、今後も指導者側の工夫(個に応じた教材の工夫や支援、学習環境の改善)が必要である。

## 2 今後の課題

- ・今年度、研究教科を国語、社会、数学、理科、英語の5教科に増やし、個に応じ、効果的に学習内容を身に付けさせていくための学習スタイルをどのようにしたらよいか、各教科で模索している。特に、国語科や社会科では少人数学習やTT指導をどのように進めていけばよいか研究しているところである。
- ・家庭学習の奨励については、個に対応した学習シート【基本的内容、発展的内容】を活用するなど、現在実施している内容をさらに改善し、生徒の学習意欲を高めたいと考えている。その際に、家庭への啓発、連携強化を図っていく必要があると考えている。
- ・小・中連携を一層進めていきたい。現在、琴丘町教育研究会として研究会を実施したり、授業参観を行ったりしている。来年度は、授業研究、研究資料、生徒資料などを効果的に活用して研究の交流を図りたい。
- ・2学期制の試行による授業時数を確保したい。

## 学力把握のための学校としての取組

- ・全国標準学力検査（NRT学力検査）を4月に実施
- ・県で行っている学習状況調査・学習に対する意識調査
- ・家庭学習に対する意識調査（6月30日、12月9日、1月26日実施）

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・琴丘町教育研究会、能代山本教育研究会（数学科、国語科）、県内フロンティア校の参加を得て10月31日の中間公開研究会を実施した。
- ・平成16年度の公開研究会の開催期日、内容等については現在検討中である。
- ・HPについては、2月更新の予定。（<http://www.shirakami.or.jp/~kotochu3/>）

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】            1 5 年度から新規校            • 1 4 年度からの継続校
- 【学校規模】                    3 学級以下                    • 4 ~ 6 学級  
                                     7 ~ 9 学級                    1 0 ~ 1 2 学級  
                                     1 3 ~ 1 5 学級                1 6 学級以上
- 【指導体制】                    • 少人数指導                    T. Tによる指導  
                                     その他
- 【研究教科】                    • 国語                    • 社会                    • 数学                    • 理科  
                                     • 外国語                    音楽                    美術                    技術・家庭  
                                     保健体育                    その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】            • 有                    無